

花の素顔 (1949)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1949/11/08

【解説】

舟橋聖一の原作を斎藤良輔が脚色し渋谷実が監督した。離婚の危機を迎えた夫婦の姿を描く。

蓼麻美子は銀座で洋裁店を経営し、家計を支えていた。才色兼備の麻美子は社交界でも評判で、画家の緒山や政治家の大垣などと付き合いがあった。緒山は麻美子の夫の真吉と古い友人で、かつては二人で麻美子を取り合ったりした。しかし今は芸術に夢中であり、麻美子も夫の真吉を愛していた。しかし緒山と麻美子の仲についての噂が立ち、真吉もその噂に心が揺らぎ始めていた。真吉は洋裁店を勝手に売ってしまい、その金でアトリエを購入。再び絵筆を取ることにした。麻美子に関する悪い噂が日に日に増え、ついに彼女は家を飛び出してしまうのだった。

【クレジット】

監督 渋谷実

製作 小出孝

原作 舟橋聖一

脚本 斎藤良輔

撮影 長岡博之

音楽 服部良一

出演 木暮実千代

折原啓子

佐分利信

若原雅夫

岡田英次 Eiji Okada